



朝読書も3回だけ復活!

1学期は、読書活動がたくさんありました!

4月から、朝読書の代わりに「朝掃除」を行って一日をスタートすることになった開星。そこで、1~4年は、4月に「おしゃべり読書」を行いました!



選んだ本を10分だけ読み、紹介の仕方考えます

おしゃべり読書のやりかた

- ① 図書館から読みたい本を1冊選んでちょっとだけ読む
- ② 各テーブルで、感想や選んだ理由を伝え合う



選んだ本やその理由、印象に残ったところ...

新入生にとっては、自己紹介にもなりました!



43R&51R では「あらし読み」を行いました。読み始める前に、「前文」「目次」「著者の情報」など、その本の「あらし(だいたいのこと)」を知ること、効率よく情報を得るための読書法です。

みんなの意見を交換するのが楽しかった



目次を見てから読むと自分の読みたいことがわかる



読んだ本を自分以外の人に伝えたら、本の内容がより覚えられた

5年は、全学級で「味見読書」を行いました。7分間ずつ、いろいろな本を「味見」します。今回は夏休みの読書感想文に向けて「小説」「エッセイ」などを中心に読みました！

人気があった本&印象に残ったところ

『ぎんなみ商店街の事件簿 SISTER 編・BROTHER 編』(井上真偽)
良太の目撃状況が図で説明されていて、わからなかったけどこれを見て理解できた

『上昇思考』(長友佑都)
人間の全ては心でできている
というのは納得



『教室に並んだ背表紙』(相沢沙呼)
苦手なことは誰にでもあるんだと思った

『さかなクンの一魚一会』(さかなクン)
好きになると一直線になるところがいい

『私は私のままで生きることにした』(キム・スヒョン)
文章が自分に問いかけられるような感じがすごく良かった

『すべては一杯のコーヒーから』(松田公太)
人には「夢」と「目標」の両方が必要だということ

『赤でもなく青でもなく 夕焼け檸檬の文化祭』(丸井とまと)
いつも見ている姿がほんとは分からないと思った

『スカートはかなきゃダメですか?』(名取寛人)
性別で悩んでいた彼は自分の意思を貫いて自分の
選択をされていてすごいと思った



忙しい開星生のみなさんですが、ゆっくり読書をしたり、
本の話を楽しむ時間になったようです(*^-^*)